

(学校薬剤師研修会地域サポート事業) 山武・外房地区合同研修会報告

千葉県学校薬剤師会 外房支部  
支部長 矢野 恵子

6月2日、茂原総合市民センターにおいて山武・外房地区合同研修会が開催されました。今回の参加者は30名でした。

テーマは、ファイザー製薬株式会社による「アナフィラキシーとその対応について」、  
「タバコの害と禁煙について」、千葉県環境財団による「飲料水とプール水の検査項目について」の3つです。

まずエピペンの製品説明・使用方法の説明ののち、アナフィラキシーのリスク因子・症状・エピペンの使用のタイミング等、より実践的なものを学びました。食物アレルギー患者数は経時的に増加しており、アナフィラキシーを引き起こす原因の35%は食物からです。

日本では、アナフィラキシーによる死亡が毎年40～70例ほど報告されているそうです。適切な対処が重要になります。

タバコについては、減少を続けていた喫煙率が平成22年度より下げ止まっている、看護師さんの喫煙率が一般女性に比べて高い傾向にあり、ニコチンの依存性が高いこと、電子タバコでも受動喫煙の被害はある、などの情報も知りました。チャンピックスでの禁煙率は、65.4%と数値は高いのですが、簡単に禁煙できるため、再び喫煙してしまう人も多いそうです。最近、2020年の東京オリンピックに向けて、国会で受動喫煙防止法が議論されていますのでとてもタイムリーな内容でした。

飲料水とプールの検査項目については、各検査項目の検査方法・基準値について説明があり、さらに採水方法についての詳細な解説がありました。長年、学校薬剤師を勤めている方でも改めて確認することができた事と思います。

今回は3つのテーマということで各30分ずつ、要点を絞った充実した内容になりました。